

授業科目 心理学Ⅱ

【担当教員名】 松本 京介		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	○	
【一般目標：GIO】 「心理学」で修得した学習内容を基に、「心理学Ⅱ」では、発達と臨床に焦点をおき、心理的支援の方法と実際について理解し、さらに専門的な心理学の知識を身につける。					
【行動目標：SBO】 1. 「心理学Ⅰ」で修得した心理学の基本概念を応用し、人間の心理的問題について具体的に述べるができる 2. 生涯発達の観点から、各時期の精神発達の特徴と心理的問題について説明できる 3. 心理的支援の方法について複数の立場を対比することができる 4. 日常生活と心の健康との関係について説明できる 5. 社会福祉現場における心理的支援の必要性和倫理の重要性について説明できる					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	発達の概念 1	ピアジェの発達理論	1, 2	講義（参考書 1『発達の概念』参照）	
2	発達の概念 2	フロイトの発達理論	1, 2	講義（参考書 1『発達の概念』参照）	
3	発達の概念 3	エリクソンの発達理論	1, 2	講義（参考書 1『発達の概念』参照）	
4	人の成長と発達 1	思春期・青年期の発達 1	1, 2	講義（参考書 1『発達の概念』参照）	
5	人の成長と発達 2	思春期・青年期の発達 2	1, 2	講義（参考書 1『発達の概念』参照）	
6	人の成長と発達 3	思春期・青年期の心理的問題 1	1～3	講義・ビデオ（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
7	人の成長と発達 4	思春期・青年期の心理的問題 2	1～3	講義・ビデオ（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
8	日常生活と心の健康	ストレスとコーピング	1, 4	講義（参考書 1『適応とストレス』『脳と心』参照）	
9	心理的支援の実際 1	心的外傷とその支援	1, 3, 5	講義・ビデオ（参考書 1『適応とストレス』『面接・見立て・心理療法』参照）	
10	心理的支援の実際 2	子どもへの虐待、プレイ・セラピー	1, 3, 5	講義（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
11	心理的支援の実際 3	子どもへの虐待、子育て支援	1, 3, 5	講義（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
12	心理的支援の実際 4	さまざまな心理療法	1, 3, 5	講義（参考書 1『対人交流とコミュニケーション』『心理療法』参照）	
13	人の成長と発達 5	乳幼児期・児童期の発達とその障碍	1～3	講義（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
14	人の成長と発達 6	成人期・壮年期・高齢期の発達と心理的問題	1～3	講義（参考書 1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照）	
15	まとめ		1～5	講義	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		医療心理臨床の基礎と経験	馬場謙一	日本評論社	2010・2,600円＋税
参考書		心理学理論と心理的支援 最新版 (参考書 1)	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,200円＋税
		スクールカウンセリングの基礎と経験 (参考書 2)	馬場謙一、松本京介	日本評論社	2008・2,500円＋税
その他の資料		適宜プリントを配布する。			
【評価方法】 出席状況、授業態度、小レポート、 期末試験の総合評価			【履修上の留意点】 多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。十分に予習・ 復習をすること。また、心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がない ようにしてもらいたい。		